



佐久島 (愛知)

Sakushima

島固有の自然と昔ながらの集落が残る佐久島。日本の原風景と言われる黒壁の街並みや島の生活を支えている畑、道端を彩る花々など、自然と人の暮らしが調和した美しい島です。アート巡りなどが人気で年間10万人の観光客が訪れる。



佐久島公式HP

<https://sakushima.com/>

◆電車の場合



◆車の場合



アクセス

佐久島へ行くには、一色港にある佐久島行き船のりばから約20分の船旅となります。

一色港までは、名古屋高速道路から知多半島道路半田ICを經由し車で1時間半くらい。電車の場合は、西尾駅からバスやタクシーで約30分で一色港まで来れます。





観光情報



佐久島アート巡り

佐久島では、平成7年からアートによる島おこしが始まり、10年ほど前から観光客が増え始めました。島内には22個のアートが点在しており、「おひるねハウス」が一番の人気スポットです。



住所：佐久島一帯
電話番号：0563-72-9607
料金：無料
営業時間：無休（館内設置のみ9時～17時）
HP：<https://sakushima.com/>
駐車場の有無：一色港（無料駐車場あり）



筒島（弁天島）

伝説の弁天様をまつる神聖な小島は、竹林に覆われてちょっぴりミステリアス。3～4月はヤブツバキが咲きます。幸せを呼ぶ「願い石」に願掛けできます！



住所：西尾市一色町佐久島筒島
電話番号：0563-72-9607
料金：無料（一部有料）
営業時間：無休
アクセス：東港渡舟場より徒歩約15分
HP：<https://sakushima.com/>
駐車場の有無：一色港（無料駐車場あり）



おすすめの宿

民宿ゆきや

東港からぶらぶら歩いて2分の距離にある『体験食堂民宿ゆきや』は、定置網体験と海鮮BBQの宿。宿の主人と一緒に定置網体験をして、朝食は獲れたての新鮮な海の幸をBBQで楽しめます。ご宿泊でも、ご昼食でもお楽しみ頂けます。

住所：愛知県西尾市一色町佐久島中屋敷50

電話番号：0563-79-1020

料金：9,000円～

チェックイン：15:00

チェックアウト10:00

アクセス：東港より徒歩2分

ホームページURL：<http://www.sakushima-yukiya.com/>

駐車場の有無：一色港（無料駐車場あり）



民宿市兵衛

料理人が漁師になった、おいしさ極めつけの宿。地のもの旬のものを、最高の鮮度と味わいでお届けします！

家庭的な雰囲気です平日は特にゆったりお過ごしいただけます。漁船で行くクルージング体験も人気です。

住所：愛知県西尾市一色町佐久島東屋敷67

電話番号：0563-79-1103

料金：7,200円～

チェックイン：16:00

チェックアウト：10:00

アクセス：東港より徒歩1分

ホームページURL：

<https://www.ichibee-sakushima.com/>

駐車場の有無：一色港（無料駐車場あり）



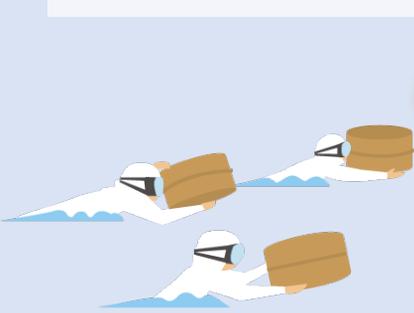


島のグルメ



大アサリ丼

佐久島で取れる良質な大アサリを使った名物が大アサリ丼です。
島内にある定食屋「鈴屋」が元祖で、メニューを考案され、島内様々なお店で提供されています。



サクのいも

島の特産品さつまいもを使ったメニューを、島内のカフェやお宿で楽しめます。
島で採れたさつまいもは「サクのいも」と呼びます。



潮風が育んだ、
なつかしいおいしい
佐久島のさつまいも。

サクのいもプロジェクト
佐久島で昔から行われていたさつまいもづくり。昔は島外にもたくさん出荷していましたが、時代の流れとともに家庭菜園での栽培のみとなりました。そんな佐久島のさつまいもを島民たちの力で復興しようと始まったのが、「サクのいも」プロジェクトです。島の気候と豊かな土壌で育ったさつまいもは、甘くておいしいと評判。いま、佐久島に新たな名物が生まれようとしています。



島での暮らし



豊かな自然に囲まれ、静かでゆったりとした時間が流れる暮らしです。お祭りや行事では、昔から伝わる佐久島太鼓が披露されます。最近では移住者との出会いをつくるため、島マルシェ「39の市」も開催されます。島民みんなで育てているやぎ「ノンとビリー」。



佐久島小・中学校 島民ふれあい学芸会『歌謡・演芸大会 西区民』2016.11.2



主な産業は、漁業と観光業です。漁業では、大アサリなどの素潜りや、あさりやなまこ漁などが盛んです。観光業は、宿が7軒、飲食店が十数件あり、最近では、移住者によるカフェも増えてきています。スーパーやコンビニはなく、島民の多くは自給のために畑で野菜づくりをしています。

